

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 13 日現在

機関番号：32688
研究種目：基盤研究(C) (一般)
研究期間：2014～2016
課題番号：26380624
研究課題名(和文) 事業範囲が拡大する医療法人に一般に公正妥当と認められる会計基準に関する調査研究

研究課題名(英文) A Research of Accounting Standards for Medical Corporations

研究代表者
井出 健治郎(井出健二郎)(IDE, KENJIRO)
和光大学・経済経営学部・教授

研究者番号：70267425
交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：事業範囲が拡大する医療法人について、どのような会計基準が望まれるかについて調査研究した。病院の会計基準や社会福祉法人の会計基準等を比較しながら検討を行った。また、医療法人あるいは関係団体に対して、アンケート調査、ヒアリング調査を行い、広く意見徴集できたことは、こうした研究補助のおかげである。医療法人会計基準は、厚生労働省の経営調査また当然医療法人自体の経営改善等に役立つような基準である必要がある。それらを念頭に医療法人の会計基準は制定されるべきであろう。

研究成果の概要(英文)：In this research, the main issue is to set generally accepted accounting standards for Medical Corporations in Japan. Medical Corporations Accounting Standards have never set in Japan. It should be equal to Business Accounting Standarda.
In the process of searching accounting standards during 3 years, we understand what needs setting generally accepted accounting standards for Medical Corporations in Japan.

研究分野：会計学

キーワード：財務会計 病院会計 医療法人会計基準 病院会計準則 社会福祉法人会計基準

1. 研究開始当初の背景

(1)医療法人は、これまで医療の担い手としての役割を果たしてきた。ただし、近年では福祉・介護等の事業においても役割期待がある。これは厚生労働省の施策の一環であるが、医療法人の事業が多角化しているという現状がある。

(2)医療法人は、医療の担い手であることから病院事業を基本としていた。そこでは病院事業に適用される会計基準、すなわち病院会計準則を一般に公正妥当と認められる会計基準として採用することで医療法人の経営実態を把握できたという背景があった。

2. 研究の目的

(1)研究の主目的は、事業範囲が拡大する医療法人に一般に公正妥当と認められる会計基準を模索することにある。この主目的を達成するために以下に挙げるような諸目標を設定している。

(2)医療法人の多角化する事業を正確に把握する必要がある。医療事業、介護・福祉事業、収益事業などのカテゴリーに整理するとともに、どのような事業が実際に存在するかについて精査することを目標とする。

(3)これまで会計基準として存在してきた病院会計準則について、その生成と発展について改めて確認する。また、病院会計準則と医療法人が担う事業との整合性あるいは制度的な欠陥について検討することを目標とする。

(4)医療法人にとって一般に公正妥当と認められる会計基準の設定主体はどのような形が適当であるかについて検討する。

3. 研究の方法

(1)医療法人の会計基準の支柱となっていた病院会計準則について、2008年に改正された経緯やそれによる制度的立付けについて検討する。

(2)企業会計基準、社会福祉法人会計基準、公益法人会計基準、NPO会計基準など、企業・非襟組織に限らず、さまざまな会計基準について比較検討する。

(3)設定主体の最有力である厚生労働省へのヒアリング・調査を実行し、また協力を得る中で公正妥当な会計基準について検討する。

(4)日本病院協会、全日本病院会、医療法人協会、精神科病院協会など病院団体、あるいは日本赤十字社などにおいても、ヒアリング・訪問調査を行う中で、一般に認められる会計基準を検討する。調査については団体の支部等を訪問する。札幌、仙台、東京・関東圏、名古屋、金沢、大阪、神戸、京都、岡山、広島、福岡などの各地域を予定している。

(5)社会医療法人や医療法人に対して、会計基準制定に関するアンケート調査を実施する。会計基準は、目的適合性の要素をいくつか有するが、実務指向における会計基準のあり方についても医療法人の場合については検討する必要がある。

(6)医療政策学と会計学との複合領域であり、専門用語の整理や体系化についても確立する必要がある。

(7)さまざまな調査から得られたデータについては可能な限り統計的な手法により、分析することを検討している。

(8)医療法人に公正妥当と認められる会計基準の制定のために、各種団体から専門的知識の提供を受けるとともに、それら団体等に会計基準の成否等を確認する中で、医療法人に適合する会計基準を模索する。

4. 研究成果

(1)制度的にはいまだ事業範囲が拡大方向にある医療法人の行う事業について一定の見解を得たことである。これまで想定していた事業のほかにも、研究期間内に介護事業においては医療的ケアが必要であり、それを根拠に医療法人の事業がさらに広範になるという状況を垣間見た。

(2)研究期間内に、民間団体による医療法人会計基準が設定されたことは大きな転換期となったといえる。それを機会に、本当に公正妥当と認められる会計基準とはどのようなものであるのか、どのような団体が会計基準を設定すべきなのか(パブリックセクターあるいはプライベートセクターという議論)、誰を保護するような会計基準を設定すべきのかなどについて検討することを本研究の枠で扱うことができたことは意義がある。

(3)一つの試案ではあるが、次のような立付けの医療法人向け損益計算書の様式を検討した。

損益計算書

事業損益の部	
医療事業	
収益	×××
費用	×××
医療事業利益	×××
介護・福祉事業	
収益	×××
費用	×××
介護・福祉事業利益	×××
収益事業	
収益	×××
費用	×××
収益事業利益	×××
事業損益	×××
事業外損益の部	
事業外収益	×××
事業外費用	×××
関連事業収益	×××
関連事業費用	×××
事業外利益	×××
経常利益	×××
特別損益の部	
特別収益	×××
特別費用	×××
特別利益	×××

税金等調整前当期純利益	× × ×
法人税等	× × ×
当期純利益	<u>× × ×</u>

(4) 一つの試案ではあるが、次のような立て付けの医療法人向け貸借対照表の様式を検討した。

貸借対照表

資産の部	
流動資産の部	
現金預金	× × ×
医業未収入金	× × ×
その他の流動資産	× × ×
固定資産の部	
有形固定資産	× × ×
無形固定資産	× × ×
投資等	× × ×
資産合計	× × ×
負債の部	
流動負債の部	
未払金	× × ×
短期借入金	× × ×
固定負債の部	
長期借入金	× × ×
病院債	× × ×
退職給付引当金	× × ×
資本の部	
資本金	× × ×
当期利益	× × ×
負債および資本合計	<u>× × ×</u>

(5) キャッシュ・フロー計算書についても企業会計同様作成することを想定している。基本的に、診療報酬制度により、短期的な運転資金は良好といえる実務による調査結果であるが、キャッシュ・フロー計算書のメリットを鑑みた場合に導入する方向で検討した。

(6) アンケート、ヒアリング調査により、実務側が望む会計基準とはどのようなものかについても検討する機会を得られた。当初は、厚生労働省が医療法人の実態を把握し、それを診療報酬等にどう関連させるかのための会計基準を想定していたが、実務指向の会計基準の必要性についても考えさせられた。

(7) 新たな医療法人会計基準の設定については厚生労働省の主体の下で、研究班あるいは検討会を設定した下で、いわゆるデュープロセスを欠くことのないような体制で制度設計する必要があると確信した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計7件)

井出 健二郎、日本赤十字社血液事業の損益計算書分析、和光経済、査読有、第49巻第3号、2017、pp.36-46。

井出 健二郎、医療法人会計基準に関する先行研究の整理、和光経済、査読有、第49巻第1号、2017、pp.1-11。

井出 健二郎、造血幹細胞(さい帯血)の原価、17歳からはじめる経済・経営学のススメ、2017、pp.215-234。

井出 健二郎、2012年社会福祉法人会計基準制定に関する第一次読解、和光経済、査読有、第48巻第3号、2016、pp.33-41。

井出 健二郎、日本赤十字社血液事業のキャッシュ・フロー分析、和光経済、査読有、第48巻第2号、2016、pp.1-9。

井出 健二郎、日本赤十字社血液事業の財務分析、和光経済、査読有、第48巻第1号、2016、pp.9-22。

井出 健二郎、日本赤十字社の財務会計基準の変革、会計・監査ジャーナル、査読有、第706号、2015、pp.63-75。

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

井出 健二郎(IDE Kenjiro)
和光大学・経済経営学部・教授
研究者番号：70267425

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4)研究協力者 ()